

国営農地再編整備事業

MAFF
農林水産省

水橋地区 事業概要



— 農地・里・水と人が調和するふるさと「水橋地区」 —



北陸農政局 水橋農地整備事業所

1 地域の概要

本地区は、富山県中央部の富山市、滑川市、中新川郡上市町に位置し、一級河川常願寺川、二級河川白岩川及び二級河川上市川沿いに広がる水田農業地帯となっており、地区内には散居集落が多く存在しています。

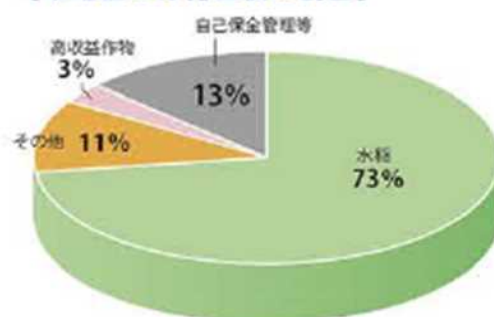
また、富山市街地とも隣接し、地区の東西には国道8号線や北陸自動車道などの幹線道路のほか、北陸新幹線や在来線が走っており、これらにより、首都圏や近畿圏と接続する幹線道路網が形成されており、交通アクセスは良好な地域となっています。



2 地域の営農状況

本地区の営農は、コシヒカリに代表される水稻を中心に、水田畑利用による大豆、大麦のほか、一部の農地ではキャベツやねぎの作付けが行われており、これらを組み合わせた農業経営が行われています。

【本地区の作付面積の割合】



出典：水穂地区営農計画



3 地域が抱える現状と課題への対応

本地区の農地は、昭和初期の耕地整理事業により一度整備が行われていますが、そのほとんどは10a未満の狭小な区画形状であり、担い手が営農するほ場は散在しているため、水管理や草刈り等の農作業に多大な労力を費やしています。

また、農道の幅員も狭く、水路も老朽化した用排兼用水路となっており、排水不良が生じているなど、効率的な営農に支障が生じています。

これにより、本地区の農業従事者は平成17年から27年までの間で約4割が減少し、農業従事者の高齢化と相まって、耕作放棄地も増加するなど、地域農業の発展に向けての大きな障害要因となっています。

農業生産基盤の現状



狭小・不正形な農地



老朽化した用排兼用水路

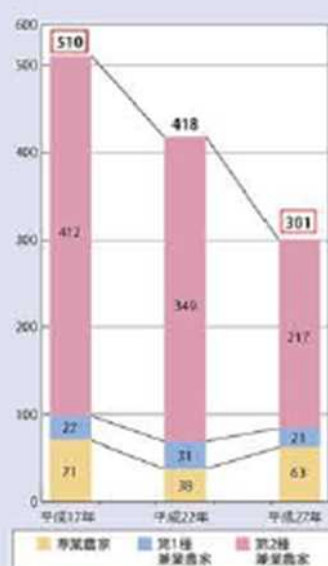


幅員が狭い農道



排水不良の農地

専業別農家数の推移



課題への対応

- ◇ほ場の大区画化を図り、担い手に農地への集積・集約化を加速化させ生産コストの低減を図ります。
- ◇ほ場の大区画化と併せ、水路の用排分離や暗渠排水等の整備により水田の汎用化を図り、野菜等の高収益作物への転換・拡大を図ります。
- ◇自動走行農機や新たな水管理技術の導入などスマート農業を可能とする基盤整備により次世代型農業の実現を図ります。

4 事業計画の内容

(1) 事業の目的

本事業は、区画整理を行い、農地の土地利用の計画的な再編と担い手への農地の利用集積を進めることにより、自動走行農機等の導入や高収益作物の作付け拡大に対応した生産基盤を整備し、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図り、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としています。

(2) 事業の概要

関係市町	富山県富山市、滑川市、中新川郡上市町
受益面積	612ha（水田612ha）
主要工事	区画整理、農道、用排水路、暗渠排水
事業工期	令和3年度～令和15年度（予定）
総事業費	260億円

(3) 整備内容

(1) 区画整理

- ◆ほ場区画の大区画化を図り、大型機化の導入を可能とします。



(2) 農道

- ◆農道の幅員を拡幅し、大型の農業機械の通行や車両とのすれ違いを可能とします。



(3) 用排水路

- ◆土水路をコンクリート水路とし、用排分離を行い、可能なところは管路化を図ります。



(4) 暗渠排水

- ◆ほ場の大区画化と併せて暗渠排水を整備することにより排水不良を解消します。



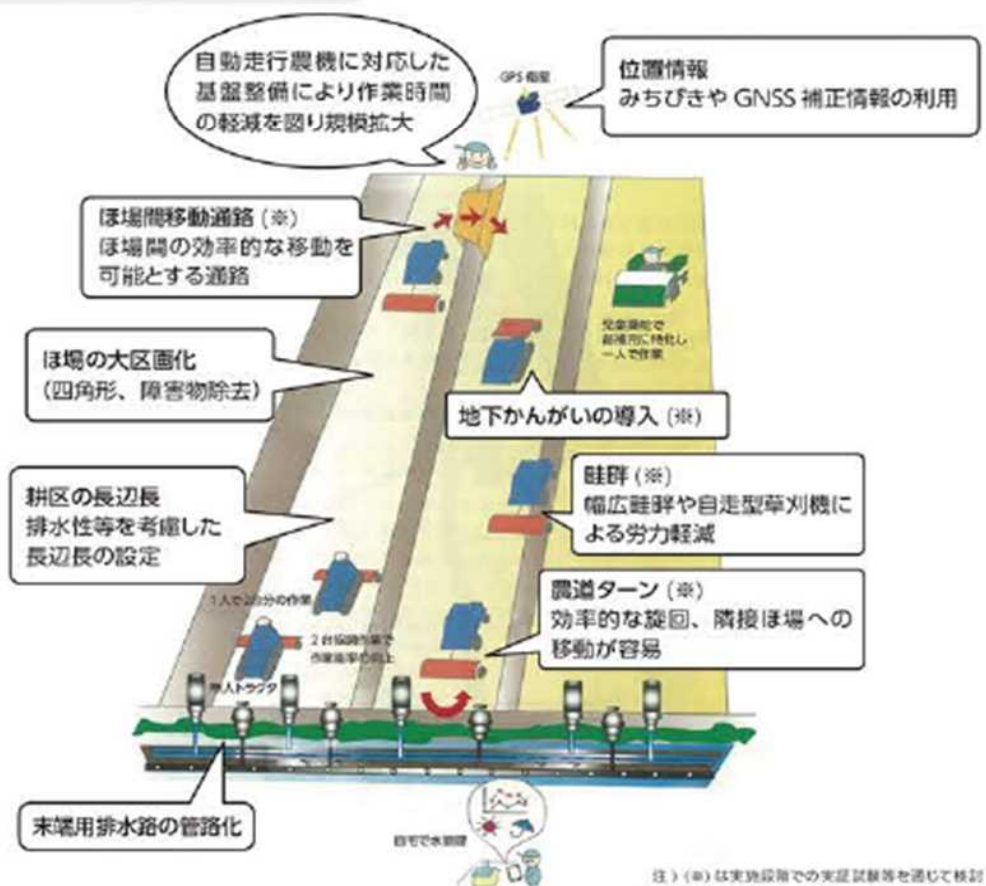
(4) スマート農業に対応した基盤整備の検討

ほ場の大区画化・汎用化を図り、担い手に農地を集積・集約することで効率的な営農が可能となりますが、これに加え自動走行農機や ICT 水管理技術等のスマート農業技術の導入により、更なる農作業の効率化・省力化を可能とするために必要な基盤整備について検討し、導入を推進します。

スマート農業技術の導入に向けた区画整理計画の検討事項

- ・農地の大区画化：大型農機の効率的な走行を可能とするためほ区均平による農地の大区画化を実施
- ・耕区の長辺長：ほ場内における農機の実作業時間の削減や排水性等を考慮した耕区長辺長の設定
- ・末端用排水路：農機の円滑な走行や水路深・除草等の維持管理労力軽減のための末端水路の管路化
- ・ICT 水管理技術：水管理労力の軽減やきめ細かな水管理を可能とする ICT 自動給水栓や分水ゲートの導入
- ・農道ターン、幅広畦畔：農機の効率的な旋回や農機による草刈りを可能とするための必要な幅員等の検討
- ・ほ場間移動通路：農機のほ場間の効率的な移動を可能とする通路の設置

自動走行農機に対応した基盤整備



出所：『自動走行農機等に対応した農地整備の手引き』農村振興局整備部農地政策課

5 事業の効果

農地の大区画化・汎用化により、担い手への農地の利用集積を進めることにより生産コストの低減が図られます。併せてスマート農業技術の積極的導入により更なる農作業の省力化が可能となります。これらにより創出された余剰労働力を活用し高収益作物の作付けへの転換・拡大や6次産業化により、産地収益力の向上が図られ地域全体の所得向上が図られます。これらの実施により農業振興を基幹とした地域の活性化が実現します。

(1) 農地の集積計画 集積率43%（実施前）→ 集積率95%（実施後）



(2) 自動走行農機やICT水管理施設等によるスマート農業技術の導入による更なる農業生産性の向上を推進



自走式農機の導入



ICT自動給水栓等の設置



ラジコン草刈り機



ドローンによる防除

(3) 高収益作物の導入や6次産業化による産地収益力の向上

【高収益作物への転換】



イメージ写真
 高収益作物の一大産地化



有色米の海外輸出の拡大



6次産業化（菜種油、有色米類）



有色米類

(4) 直売所や観光農園等による交流人口の増加など地域振興の促進



直売所
 地場産物を直売所で販売



観光農園（イメージ）
 イチゴの高設栽培



学校給食（イメージ）
 地場産の食材を使って
 地産地消

6 環境との調和への配慮

本地区は、富山湾、雄大な立山連峰、北アルプスに源を発する常願寺川や白岩川、上市川などの大小の河川、田園風景、森林など、四季折々の美しい自然景観に恵まれています。また、地区内には、県内でも数少ないタマガシやホオアカの飛来地があり、タガイ、マツカサガイなどの希少な貝類やヒメナミキ、ナガエミクリなど希少な植物が生息しており、豊かな環境が育まれています。

このため、本事業においては、関係市町の農村環境計画等との整合を図りつつ、本地域が有する自然環境との調和に配慮して事業を実施することとしています。

地域に生息する希少な生物



ナマズ
類：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



キタノメダカ
類：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種：準絶滅危惧 (NT)



アカハライモリ
類：準絶滅危惧 (NT)
種：準絶滅危惧 (NT)



トノサマガエル
類：準絶滅危惧 (NT)
種：準絶滅危惧 (NT)



ゲンジボタル
類：情報不足 (DD)
種：情報不足 (DD)



マツカサガイ
類：準絶滅危惧 (NT)
種：絶滅危惧Ⅰ類 (CR + EN)



ヒメナミキ
類：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



ナガエミクリ
類：準絶滅危惧 (NT)
種：準絶滅危惧 (NT)

環境配慮対策

地域に生息する生物の生息環境を保全するために必要な対策を講じます。歴史的・文化的施設や人との関わりのある農業水利施設等を保全します。



水生植物の移植実施例



深みの設置例



底抜き水路の設置例



底板開口型水路の設置例



複断面水路の設置例



石積み水路の保全

※環境配慮対策は、現地の地形や気象条件等に基づき、上記事例等を参考に施設管理者と協議しつつ、具体的な対策を検討し実施します。

7

特徴的な地域資源

歴史・文化



水神社



白濁井戸



集落ごとにある分社

景観



富山河



立山連峰



畝田集落

観光



JA なのはな農産物直売所



里山の駅つるぎの味蔵



地場もんじゃ

特産品



ホタルイカ



里いも



細工かまぼこ

北陸農政局 水橋農地整備事業所

〒931-8431 富山県富山市針原中町 311 番地 1

TEL: 076-471-5031 (代表)

FAX: 076-471-5047



令和3年8月作成